

ニューロナーズの疑問に答える！

脳神経疾患画像診断レクチャー

疾患の基礎知識、画像を見るときのポイントなど脳神経疾患画像にまつわるナーズの素朴な疑問に1問1答形式でズバットお答えします！



第14回

脱髄疾患

企画

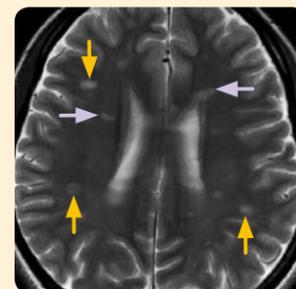
土屋一洋 (杏林大学医学部 放射線医学教室 臨床教授)

つちや・かずひろ：1980年 北海道大学医学部卒業、同年 東大附属病院 放射線科 研修医、1981年 同 助手、1984年 公立昭和病院 放射線科 科長、1985年 防衛医科大学校 放射線医学教室 助手、1993年 杏林大学医学部 放射線医学教室 講師、2000年 同 助教授 (2007年より准教授) を経て、2013年より同 臨床教授。

執筆 藤川 章 (自衛隊中央病院 放射線科)

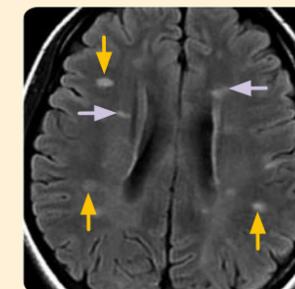
画像所見

MRI T2 強調像①



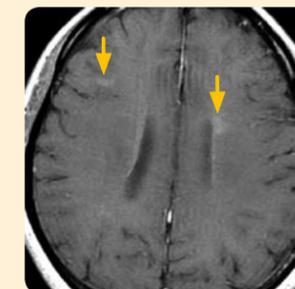
側脳室周囲の深部白質に高信号病変が多数みられる (→)。Dawson's finger もみられる (→)。

MRI FLAIR 像



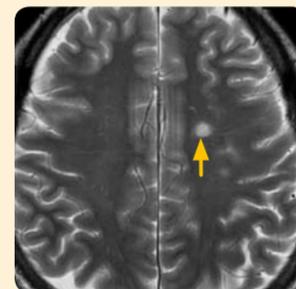
T2 強調像と同様の病変分布がある (→)。Dawson's finger もみられる (→)。

MRI 造影 T1 強調像



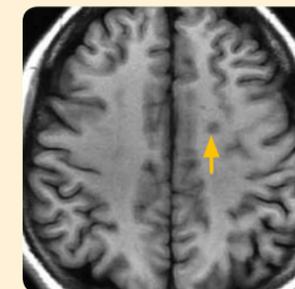
造影剤投与により、T2 強調像や FLAIR 像でみられた病変の一部に増強効果がある (→)。

MRI T2 強調像②



半卵円中心と呼ばれる大脳白質領域にプラークがある (→)。

MRI T1 強調像



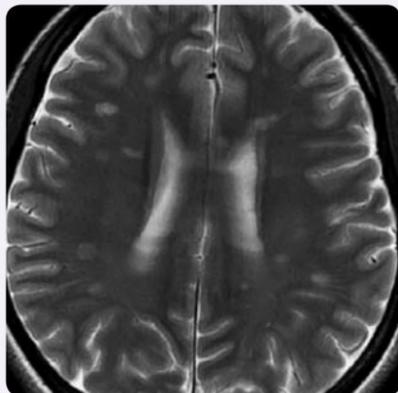
プラークは低信号として認められ (→)、脱髄が強いことを示唆する。

① 多発性硬化症 (multiple sclerosis ; MS)

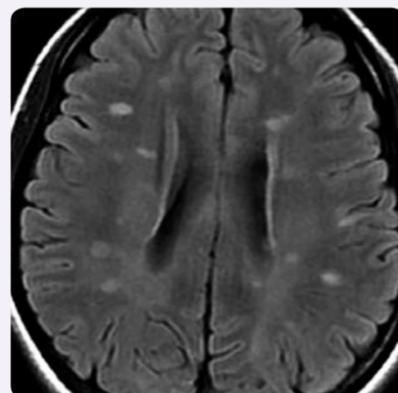
症例 20歳の女性

1年前には右上肢の違和感で、今回は左下肢のしびれと脱力をきたして来院。

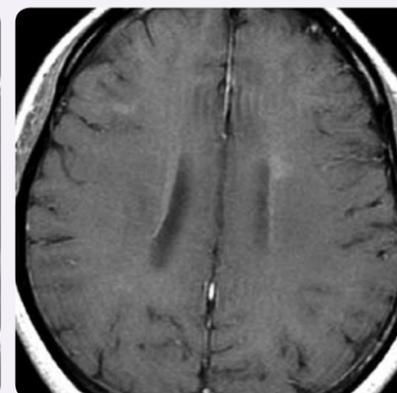
MRI T2 強調像①



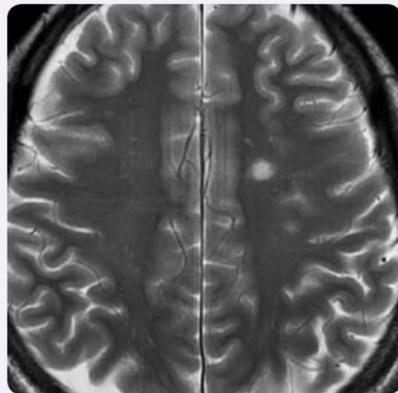
MRI FLAIR 像



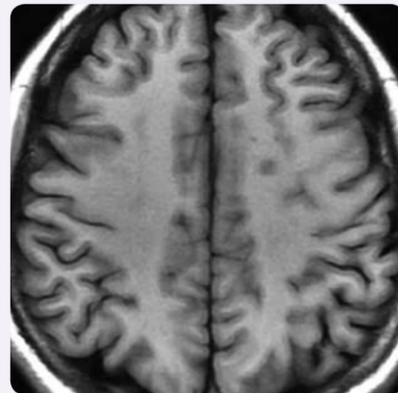
MRI 造影 T1 強調像



MRI T2 強調像②



MRI T1 強調像



Q1



MS はどのような疾患ですか？

中枢神経系の自己免疫性の炎症性脱髄疾患です。さまざまな神経症状を呈しながら慢性経過します。再発・寛解を繰り返し、時間的・空間的に多発することが本疾患の特徴です。好発年齢は20～50歳で、女性にやや多い傾向があります。

多発性硬化症

- 中枢神経系の自己免疫性の炎症性脱髄疾患
- さまざまな神経症状を呈しながら慢性に経過
- 時間的・空間的に多発
- 20～50歳に好発し、女性にやや多い傾向